

パラバドミントン



2020年東京パラリンピックから正式競技種目

競技概要

パラバドミントンは、脊髄損傷などの「車いす」と機能障がいなどの「立位」に分かれ、障がいの程度によりクラス分けされています。

車いすでプレーする選手は、半面のコートを使用するなどの特別ルールが適用されます。



カテゴリー

1	WH1	車いす		シングルスを 半面で戦う
2	WH2	車いす		
3	SL3	立位	下肢	
4	SL4		上肢	
5	SU5	立位	上肢	シングルス 全面で戦う
6	SS6	立位	低身長	

・車いす (WH1) (WH2)

車いすのカテゴリーはシャトルを打つ瞬間に胴体の一部が車いすと接していないといけません。

・立位 (SL3) (SL4) (SU5) (SS6)

立位のカテゴリーは4クラスに分けられており、下肢障がいは障がいの程度によりSL3、4の2クラス、上肢障がいのSU5、低身長のSS6にカテゴライズされます。

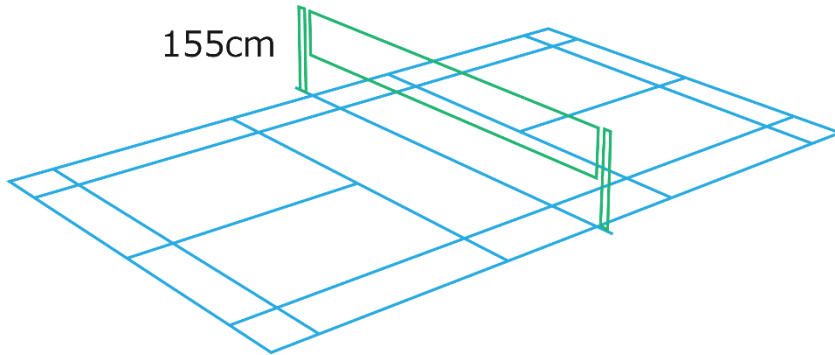


パラバドミントン

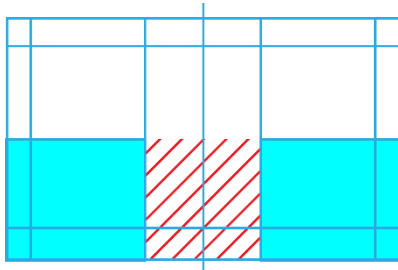
ルール

基本的には一般のバドミントンと変わりありませんが、車椅子と下肢障がいのクラスは特有のルールがあります。

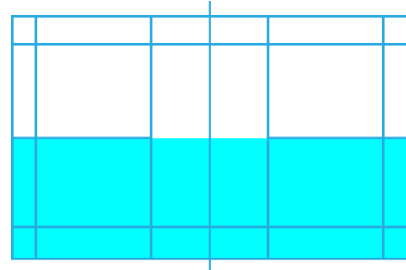
- ・ネットの高さは一般と同じ（中央で1.524m、ダブルスのサイドライン上では1.550m）
- ・半面で行い、ネットからショートサービスラインまでは常にアウト
- ・サーブ時のみ、ショートサービスラインからロングサービスライン内に入らなければアウト



車いすのシングルスはコート halves を使い、シャトルはネットとネットに近いサービスラインの間に落ちたものはアウトになります。



SL3のシングルスもコート halves を使用します。



家で簡単にできるバドミントン 風船バドミントン

準備するもの

- ・風船
- ・ラケット（うちわ、しゃもじなどでも可）



ルール

風船をシャトル代わりにしてラケットで打ち合う。風船の空気の量によって球のスピードを調整できます。